

# 飼肥杉良さ知って

## 伐採現場、製材所見学ツアー

### 日南 福岡10家族が参加

南那珂森林組合と福岡県筑紫野市の材木商や工務店でつくるおび杉住宅協議会は、飼肥杉見学バスツアーをこのほど開いた。木造住宅に関心を持つ福岡県内の10家族43人が参加。日南市内の伐採現場や

製材所などを見て回り、飼肥杉への理解を深めた。

雇用促進事業として市の補助金を一部使って実施した。一行は、樹齢1

20年の杉が林立する三ツ岩学術参考保護林を訪れ市有林も見学。

飼肥杉を使った住宅の例を見るため飼肥城下町を散策し、宿泊場所の蜂之

美公園コテージで材質などの説明を受けた。

翌日、森組の伐採現場を視察。チェーンソーで木を切り倒す様子や高性能林業機械で

搬出する作業を見た。最後に訪れた森組の製材工場では、

直径70センチの大木を帯のこで板にひく光景や機械で磨いて製材にする工程などを学んだ。

家族4人で参加した大野城



南那珂森林組合の製材所を見学する飼肥杉ツアーの一行

市、会社員井上貴仁さん(37)は「木の家を建てたいと思っ

ている。子供たちは伐採作業を見て感激し、自分も製材までの過程を知って多くの人の

かかわりが理解できた」と満足していた。

協議会を構成している材木商サトウ産業(筑紫野市)の佐藤広樹社長は「木材を出す

側と使う側が手を取り、消費者にアピールした最高の機会」

伸社長は「自信を持って使っている飼肥杉が立っている姿から見てもらえば、木材や木造住宅に対する理解が深まる。今後も飼肥杉の良さを訴えていきたい」と話していた。

## 得意分野生かそう

### 協働へ理解深める研修会

串間

串間市協働推進センター設立準備事務所「パナップ」は9月28日、「市民協働研修会」みんなでスタート！ コラボの一步、くしまの一步」を串間温泉いこいの里で開催し、約90人が協働への理解を深めた。

市総合政策課協働推進係長の増田仁さんによる講義では、協働を「市民と行政が対等な立場で支え合い、より良

いまちづくりに向けて取り組むこと」と定義。「同じ目標に向かって市民と行政が得意分野を生かせば、相乗効果が生まれる」などと説明した。

パネルディスカッションは宮崎市のNPO法人宮崎文化本舗の副代表理事井上優さん、都城まちづくり株式会社、佐土原太志さん、串間市木のNPO法人代表理事久志尚太郎さん、増田さんが登壇。

井上さんは「墓地の管理者を県公園協会、知財者支援の社会福祉法人が行い、障害者雇用など新生んでいる」と紹介。様々な団体の力

パネルディスカッション、深めた研修会